

令和7年1月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和7年1月号」をお送りしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

さて、市では、昨年12月に令和6年の10大ニュースを発表しました。

<令和6年 八戸市10大ニュース（一般部門）>

- 1位 イトーヨーカドー 八戸での歴史に幕 44年市民に愛され（8月）
- 2位 給食費完全無償化（10月）
- 3位 八戸三社大祭 入り込み数156万人超（8月）
- 4位 子ども医療費完全無償化（10月）
- 5位 「全国朝市サミット」開催（10月）
- 6位 北奥羽記録的大雪 八戸市44センチ 交通乱れ臨時休校も（2月）
- 7位 YSアリーナ八戸初の国際大会開催 世界レベルの滑り 観客興奮（2月）
- 8位 暑さ対策、八戸市立の小中学校夏休み5日間遅く始まる（7月）
- 9位 大谷クラブに感激 八戸市内小学校にも届く（1月）
- 10位 「消滅可能性」 青森県内市町村9割が該当 八戸市も（4月）

1位のイトーヨーカドーの閉店に関するニュースは、今回初めて実施した「こどもモニター部門」の投票結果でも1位となり、イトーヨーカドーが幅広い世代から愛されていたことが伺えます。八戸三社大祭や全国朝市サミットといった、大勢の観光客でにぎわったイベントも上位に入りました。

本年も、八戸市美術館で開催される「ポケモン工芸展」や令和8年開催予定「第80回国民スポーツ大会」の競技別リハーサル大会など、さまざまなイベントを通して、八戸市がより輝く1年になることを願っております。

◎皆様へのお願い

職業、役職、連絡先などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸1月号 レポート

令和6年12月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	SDGsセミナー らんま先生が科学実験
(2)	シニアにスマホ教えるコツは 指導者育成ワークショップ
(3)	八戸市美術館 田面木小で出張授業 教育版画の世界に触れて
(4)	是川遺跡追加指定 一王寺遺跡内の民有地2,460㎡
(5)	深夜乗り合いタクシー「シタクン」 期間限定復活

【産業】

記事	概要
(6)	武輪水産（八戸）3年連続入賞 いわしアヒーショ長官賞
(7)	青森県「レッツBuy」事業 八戸市誘致企業・桜総業開発のLED照明認定
(8)	八戸・丸美屋 縄文土偶モチーフのグミ販売
(9)	八戸でフォーラム 事業所が事例紹介 外国人材活用の課題共有
(10)	船凍キンメダイ 八戸港水揚げ過去最多 金額も最高
(11)	和菓子店「港むら福」 湊にこだわり100周年 記念新商品発売

【地域】

記事	概要
(12)	「南部弁の日」関連イベント 方言の魅力書道で
(13)	せんべい汁で八戸PR 汁〆研、都内で活動
(14)	八戸・コワーキングカフェ「エスタシオン」再出発 交流の場踏襲、起業支援
(15)	イオン東北出店の八戸・ピアドゥ核店舗 衣食住の商品中心 総合スーパーに
(16)	2023年12月リニューアル 八戸市魚菜小売市場 利用者50万人達成

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	木村さん（八戸） 東大にツリーハウス制作、復興へ思い
(18)	全日本スピードスケート YSアリーナ八戸で開催
(19)	八戸ラグビーフットボール協会 強豪・南アフリカからコーチ初招請
(20)	鹿島アントラーズ柴崎選手 八戸でサッカークリニック 児童を指導

【行政】

記事	
(1)	<p>SDGsセミナー らんま先生が科学実験</p> <p>八戸市は12月1日、今回で3回目となる「SDGsセミナー」を開いた。環境省認定の環境パフォーマンスとして活動する「らんま先生」が講師となり、ジャグリングや手品を交えつつ、ペットボトルを振ると液体の色が変わる実験や、ギネス世界記録に認定されたという巨大な空気砲などを披露。科学実験とパフォーマンスを融合させたステージの合間に、再生可能エネルギーやプラスチックごみによる海洋汚染などの環境問題について分かりやすく解説し、集まった親子連れの参加者142人は、地球環境について楽しく学んだ。</p>
(2)	<p>シニアにスマホ教えるこつは 指導者育成ワークショップ</p> <p>八戸市は12月14日、高齢者に対してスマートフォンやタブレットの操作を指導できる、指導者育成を目的としたワークショップ「はちのへスマホサポート講習会」を開いた。市の「いきいきとしたデジタル社会推進事業」の一環で、同事業の委託事業者である「コネクトグローバル」（八戸市）が企画。参加者は、シニア世代がスマホに苦手意識を持つ理由や、支援する側に求められる心構えなどを学んだ後、「実践会」として、学んだことを生かしながら実際にスマホに不慣れな高齢者らに対応し、使用する上での疑問や困りごとに親身になって答えた。</p>
(3)	<p>八戸市美術館 田面木小で出張授業 教育版画の世界に触れて</p> <p>八戸市美術館は12月18日、子どもたちに教育版画の世界に触れてもらおうと、市立田面木小で学芸員による出張授業を行った。授業は市内の小中高校が対象で、同館で開かれている企画展「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」の開催期間に合わせて初めて実施。児童は、学芸員と対話しながら、展示作品である「星空をペガサスと牛が飛んでいく」や海難事故で家族を亡くした女性の悲しみを表現した「あとに残された者」、洋上を飛行するウミネコを描いた「飛ぶ」などの作品を鑑賞。学芸員による作品の見どころなどの解説を通じて学びを深めた。</p>
(4)	<p>是川遺跡追加指定 一王寺遺跡内の民有地2,460㎡</p> <p>国の文化審議会は12月20日、八戸市の是川石器時代遺跡の史跡追加指定を阿部俊子文部科学相に答申した。範囲は遺跡を構成する一王寺遺跡の中にある民有地2,460㎡で、全体の指定面積は計221,468㎡となる。正式決定は2025年夏頃の見込み。是川石器時代遺跡は中居、一王寺、堀田の3遺跡で構成され、市教委は現在、第1期整備基本計画に基づいて、中居遺跡の復元に向けた工事を進めている。今後、一王寺、堀田の両遺跡も復元し、かつての生活を体感できる「縄文の里山」とする方針で、今回の追加指定により一体的な保全や環境整備が可能となる。</p>
(5)	<p>深夜乗り合いタクシー「シタクン」 期間限定復活</p> <p>東北新幹線下り最終便に合わせて八戸駅と八戸市中心街を結ぶ深夜乗り合いタクシー「シタクン」が1、2月に実証事業として期間限定で復活する。2010年に開始し、コロナ禍による利用者減を背景に20年から休止していたが、乗務員不足や高齢化によりタクシー待機台数の減少が予想されることから、深夜帯の公共交通による移動手段確保に取り組む。地元タクシー4社が運行主体となり、八戸駅を出発し中心街などを経由して本八戸駅までの各バス停付近に停車。料金は区間に応じ500～900円。当日午後10時までにWebで事前予約、決済する。来年度も期間を拡大して実証実験を行う予定で、将来的な本格再開を目指す。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p>武輪水産（八戸）3年連続入賞 いわしアヒーショ長官賞</p> <p>2024年度の全国水産加工品総合品質審査会で、八戸市の水産加工会社「武輪水産」が出品した「FineDISH！青森県産いわしとガーリックのアヒーショ」が、最高賞の農林水産大臣賞に次ぐ水産庁長官賞に輝いた。同社の水産加工品が審査会で受賞するのは3年連続。「FineDISH！」は同社が展開する「八戸たけわ食堂」ブランドのシリーズ。同商品は、県内に水揚げされたイワシと県産ニンニクを使用。オリーブオイルでじっくり煮込んだイワシは骨まで食べることができ、パスタの具材などアレンジメニューとして使うのもお勧めという。</p>
(7)	<p>青森県「レッツBuy」事業 八戸市誘致企業・桜総業開発のLED照明認定</p> <p>八戸市の誘致企業「桜総業」（横浜市）の発光ダイオード（LED）照明「SAKURA LED LIGHTS SKRシリーズ」が12月10日、青森県の「レッツBuyあおり新商品」に認定された。新商品開発や新事業創出に積極的に取り組む県内企業を認定する制度で、県は認定商品のPR等により企業を支援する。今回認定された同シリーズは、調光器具を使わず、壁スイッチの操作で明るさを4段階に切り替えられるのが特徴。調光による節電で、二酸化炭素の排出削減にも効果があるという。</p>
(8)	<p>八戸・丸美屋 縄文土偶モチーフのグミ販売</p> <p>八戸市の菓子処丸美屋は、市の新規事業への助成金を活用し、八戸市内出土の縄文時代の土偶をモチーフにしたグミ「これかわいいね」を開発した。土偶の顔の表情や特徴を再現した商品で、顔と祈りのポーズを再現した風張1遺跡出土の国宝の合掌土偶はリング味、頬に手を添えた頬杖土偶は黒糖味、特徴的なギョウザに似た頭を表現した是川中居遺跡出土の屈折像土偶はきなこ味にした。立体造形は八戸工業大の学生がデザイン。3種類各8個の計24個入りで、1缶税込み1,200円。丸美屋の小中野本店と八食センター店で販売している。</p>
(9)	<p>八戸でフォーラム 事業所が事例紹介 外国人材活用の課題共有</p> <p>八戸商工会議所など主催の外国人材活用フォーラムが12月13日、市内で開かれた。国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部の是川夕部長（八戸市出身）が、地域経済を維持するための外国人材の活用について講演したほか、パネルディスカッションでは、「中小企業が外国人材を戦力として活躍させるために」と題して、外国人を雇用する市内の事業所関係者が取組事例を紹介。参加者は人口減少や人手不足が進む地域経済を維持するためのヒントを探った。</p>
(10)	<p>船凍キンメダイ 八戸港水揚げ過去最多 金額も最高</p> <p>八戸港に水揚げされる船凍キンメダイについて、2024年の水揚げ数量が2,100 t 前後に上り、統計が残る2010年以降で最多となるのが12月26日、分かった。水揚げ金額は8億円を超え、数量、金額共に過去最高を記録。主力魚種のスルメイカやサバの不漁が続く中、船凍キンメダイは水揚げが安定しており、漁船漁業を下支えしている。主な流通先は東海地方だが、地元スーパーなどでの取り扱いも増えている。北太平洋の天皇海山海域でキンメダイを漁獲するのは、国内でも八戸港所属の大型船2隻のみ。漁業会社は販路拡大や認知度向上に注力しており、一層の情報発信を進める構え。</p>

	和菓子店「港むら福」 湊にこだわり100周年 記念新商品発売
(11)	八戸市湊町の和菓子店「港むら福」は、創業100周年を記念した新商品「うみねこ和ナンシエ」を発売した。同店は、地元になんだ商品開発に積極的に取り組んでおり、20年以上前に生まれたごま塩が効いたサツマイモあんのパイ「湊魂」は代表格。新発売の「うみねこ和ナンシエ」は「八戸の海と空の潮風スイーツ」がテーマで、バター生地の焼き菓子フィナンシエを和風にアレンジ。ウミネコ型のもなかは見た目のかわいらしさにこだわった。価格は税込み、1箱5個入り1,188円、1個195円。今後、同市のユートリーなどでも順次発売を始める。

【地域】

記事	概要
(12)	<p>「南部弁の日」関連イベント 方言の魅力書道で</p> <p>八戸市の「はっち」で12月1日、6日の「南部弁の日」に合わせたイベント「はっちがずっぱど南部弁」が開かれた。この日は、ボランティア書道教室・俊文書道会のメンバーらが「じょんこ けろじゃ」などの南部弁の会話を大胆に書き上げた。市中心街の飲食店などに南部弁の書を飾ってもらうプロジェクトを進めているタレントの十日市秀悦さんは、お笑いコンビ「あどばるーん」らとのトークで、会場の市民を巻き込んで残したい方言をピックアップ。参加者は、イベントを通じて郷土の方言の面白さや温かみを堪能した。</p>
(13)	<p>せんべい汁で八戸PR 汁〆研、都内で活動</p> <p>八戸せんべい汁研究所は、11月から1月末までの3か月間、東京・中央区の飲食店「米と魚さかなさま日本橋茅場町店」の協力を得て、せんべい汁などをグランドメニューで提供してもらうなど、都内で八戸市のPR活動を積極的に展開している。12月7日には、同店でせんべい汁や地酒を楽しむイベントを開催し、メンバーが参加者約20人に八戸のせんべい文化やお勧めの周遊プランを紹介し来八を呼びかけた。8日には、親子を対象とした南部せんべいの手焼き体験も実施。1月にも同様の催しを開くほか、2月には練馬区光が丘での八戸のPRイベントも予定されている。</p>
(14)	<p>八戸・コワーキングカフェ「エスタシオン」再出発 交流の場踏襲、起業支援</p> <p>八戸市番町に2022年オープンし、2024年9月から休業していたコワーキングカフェ「エスタシオン」が12月16日、営業を再開した。飲食業への進出希望者のチャレンジショップとなるようなカフェを目指し、起業や趣味に関するイベント、勉強会等も開催予定。ビル3階の個室は事務所としても使えるようにする方針。新たに運営を担うのは起業家支援などを手がける東京の「ポイントファイブ」。代表の野田賀一さん（東北町出身）は八戸市の起業支援プラットフォーム「8サポミーツ」のコーディネーター兼コミュニティマネージャーを務めており、東京と八戸の2拠点で生活しながら、中心街の交流の場としての役割を果たし、市民らの挑戦を応援する。</p>
(15)	<p>イオン東北出店の八戸・ピアドウ核店舗 衣食住の商品中心 総合スーパーに</p> <p>八戸市のショッピングセンター・ピアドウの核テナントで、8月末に閉店したイトーヨーカドー八戸沼館店の後継テナントが「（仮称）イオンスタイル八戸沼館」となることが12月18日、分かった。衣食住に関わる商品を総合的に取り扱う総合スーパー（GMS）の業態を目指し、2025年春の開店を予定。県内のイオンスタイルは同市の「イオンスタイル八戸城下」に続く2店舗目で、食、衣料品、暮らしの品をフルラインで取り扱うのは始めて。ピアドウ内で現在も営業中のフードコートなどのスペースについても、イオンスタイル開店に合わせて一部改装する予定。</p>

	2023年12月リニューアル 八戸市魚菜小売市場 利用者50万人達成
(16)	老朽化に伴う大規模改修を行い、2023年12月1日にリニューアルオープンしたJR陸奥湊駅前の八戸市魚菜小売市場の利用者が、12月24日、50万人に達した。リニューアル後は4か月で10万人を達成。1日平均約850人、1か月約2万人が利用している。周辺の民間市場と共に市民の台所として長年親しまれてきた陸奥湊の中核施設で、現在は店子（たなこ）16人が20区画で営業。同市場に隣接する複数棟では、26年秋の開業を目指して民間による再開発も進められており、完成後は相乗効果による誘客増加が期待される。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p>木村さん（八戸） 東大にツリーハウス制作、復興へ思い</p> <p>八戸市の彫刻家木村勝一さんが東京大の構内にツリーハウスを制作し、12月2日、お披露目された。「東京大学芸術創造連携研究機構」のアートプロジェクトの一環で依頼を受け制作したもので、八戸など青森県産の木材や震災で津波をかぶった鋼板を作品に活用するなど、東日本大震災の記憶の継承や復興への思いが込められている。展示は1月末まで。また、お披露目と同日には、アートプロジェクトのイベントとして、八戸市を拠点に活躍するジャズピアニストのデビット・マッシューズさんや同市出身のトランペッター類家心平さんらによるコンサートも開かれた。</p>
(18)	<p>全日本スピードスケート YSアリーナ八戸で開催</p> <p>第92回全日本スピードスケート選手権大会が12月13～15日、YSアリーナ八戸で開催された。最終日に行われた女子1,000mでは、2022年北京冬季五輪金メダリストの高木美帆選手が、2年前に自身がマークしたリンク記録を0秒48更新し優勝。500m、1,500mと合わせて3種目を制覇し、最優秀選手にも選ばれた。女子1,000mの金井愛未選手（八学大）は、前日の500mに続き自己ベストの更新を狙ったが、わずかに届かなかった。</p>
(19)	<p>八戸ラグビーフットボール協会 強豪・南アフリカからコーチ初招請</p> <p>八戸ラグビーフットボール協会は12月22日、市内で「南アフリカ交流クリニック」を初めて開催した。講師として招かれたのは、ワールドカップで4度の優勝を誇る強豪・南アフリカのトップチームでプレー経験のあるニック・グルームさんをはじめとするコーチら6人。市内の幼児や小中学生ら約60人が参加し、講師陣の手本を見ながら真剣な表情で練習に励み、後半には講師たちも加わってミニゲームを実施した。今後も高校生や大学生への対象拡大を視野に、継続的に開催する考え。</p>
(20)	<p>鹿島アントラーズ柴崎選手 八戸でサッカークリニック 児童を指導</p> <p>J1鹿島アントラーズで活躍する柴崎岳選手（野辺地町出身）によるサッカークリニック「COPA AOMORI」が、12月29日、市内のスポーツ施設で開催された。クリニックはスポーツを通じて新しい経験してもらおうと、柴崎選手が企画し、スポーツ選手のマネジメントを手掛ける「UDN SPORTS」（東京）が主催。市内外の小学4～6年30人が参加し、親子一緒に「考える練習」や柴崎選手とのミニゲームを通じて、プロの巧みな技術に触れながら、考えてプレーする大切さを学んだ。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただく寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記4つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



JRE MALL



送付先

広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

